



## 西山 暁

東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 総合診療歯科学分野  
東京科学大学病院 顎関節症外来

### 『顎関節症の疫学と病因論』

#### <要旨>

顎関節症の有病率は、かねてより 5～12%程度とされていますが、昨今の研究報告では 20%以上が罹患している可能性があることも報告されています。患者に顎関節症を説明する中で、基本的な疫学情報は必要不可欠な説明項目ですので、正しい情報を再確認することが重要となります。

また、顎関節症が様々な要因（寄与因子）によって成り立つ“多因子疾患”であることも周知の事実ですが、ここでそれら寄与因子の内容を整理して示してゆきます。さらに、寄与因子同士がどのように影響し合っているのかについても、最近の研究報告をもとに提示してゆく予定です。

#### <講演内容>

- I 顎関節症の疫学的知識
- II 顎関節症における多因子疾患の考え方
- III 顎関節症に関する寄与因子

#### <専門医カリキュラム>

- ・顎関節症の疫学的特徴を説明できる
- ・顎関節症の発症メカニズムと症候、継発する病態を説明できる
- ・医療面接を実施できる
- ・生活指導、習癖の指導を行える
- ・心身医学・精神医学的な因子を有する患者への対応ができる

#### <略歴>

1995 年 3 月 東京医科歯科大学歯学部卒業  
1999 年 3 月 東京医科歯科大学歯学部大学院修了 歯学博士号取得  
2002 年 6 月 東京医科歯科大学大学院 部分床義歯補綴学分野 助教  
2007 年 4 月 東京医科歯科大学 歯学部附属病院 顎関節治療部 助教  
2016 年 4 月 東京医科歯科大学大学院 口腔顔面痛制御学分野 講師  
2021 年 12 月 東京医科歯科大学大学院 総合診療歯科学分野 准教授  
(2021 年 10 月より 東京医科歯科大学病院 顎関節症外来 診療科長)  
2024 年 10 月 東京科学大学大学院 総合診療歯科学分野 准教授  
東京科学大学病院 顎関節症外来 診療科長

代表的所属学会等：

日本顎関節学会 認定歯科顎関節症専門医・指導医

日本顎関節学会主催 DC/TMD 認定セミナー修了



## 渡邊 友希

昭和医科大学歯学部 歯科補綴学講座 顎関節症治療学部門  
昭和医科大学歯科病院 顎関節症治療科 兼任講師

### 『顎関節症の診断』

#### <要旨>

顎の痛みや開口障害を引き起こす疾患は、顎関節症以外にも多数あります。顎関節症の診断においては、他の疾患の可能性を慎重に排除した上で初めて「顎関節症の可能性がある」と判断されるため、この「除外診断」のプロセスが極めて重要です。正確な診断には、顎関節症と類似する疾患の理解が不可欠となります。

さらに本講演では、顎関節症の 4 つの病態分類について、画像を交えながら詳しく解説いたします。

#### <講演内容>

- I 顎関節症以外の顎関節・咀嚼筋の疾患  
あるいは障害
- II 顎関節症と鑑別を要する疾患あるいは  
障害
- III 顎関節症の病態診断

#### <専門医カリキュラム>

- ・顎関節症の病態を説明できる
- ・顎関節症の診断および病態診断ができる
- ・顎関節症以外の顎関節疾患と鑑別できる
- ・顎関節症類似の臨床症状を呈する疾患と鑑別できる

#### <略歴>

1996 年 昭和大学歯学部 卒業  
2000 年 昭和大学歯学部 第一口腔外科 大学院卒業  
2000 年～2004 年 昭和大学歯学部 第一口腔外科 員外助手  
2008 年～ 昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座顎関節症治療学部門 兼任講師  
2020 年～ 東海大学医学部付属病院歯科口腔外科 非常勤医師（口腔顔面痛外来）兼任  
2013 年～2024 年 放送大学教養学部教養学科(心理と教育コース)全科履修生  
2024 年～昭和大学歯学部 歯科補綴学講座 顎関節症治療学部門 兼任講師

代表的所属学会等：

日本顎関節学会 認定歯科顎関節症専門医（学術委員、診療ガイドライン作成委員）  
日本口腔顔面痛学会 専門医、指導医、評議員（セミナー企画運営委員、痛み専門医療者資格審査委員）  
日本歯科心身医学会 代議員  
日本慢性疼痛学会 専門歯科医  
日本いたみ財団 いたみ専門医  
日本頭痛学会  
DC/TMD Certification



## 山口 賀大

愛知学院大学歯学部  
冠橋義歯・口腔インプラント学講座

### 『TMD 治療時の一般原則と保存的治療』

#### <要旨>

今回の学術講演会では、この度公開された“顎関節症：標準治療を行うための新たなキーポイント”の概要を紹介しています。中でも、本セッションでは顎関節症治療時の一般原則と保存的治療を解説しています。標準治療とは、EBM の概念に基づく可逆的保存治療であり、病態説明や認知行動療法、運動療法、アプライアンス療法、薬物療法などがあげられます。

診療ガイドラインが 2023 年に更新され、EBM の重要性がますます高まっています。その一方で、診査診断の講演はこれまでも多くありましたが、治療の実際に触れた講演は数が少ないのが現状です。今回は、演者が実際に行なっている治療について紹介していき、最後に保存的治療で対応した症例供覧を行います。

#### <講演内容>

- I TMD 治療時の一般原則
- II 診療ガイドライン 2023 の概要
- III TMD 治療時の保存的治療
- IV 保存的治療で対応した症例供覧

#### <専門医カリキュラム>

- ・各病態に対し治療・管理目標を設定できる
- ・理学療法を行える
- ・オクルーザルアプライアンス（スプリント）療法を行える
- ・インフォームド・コンセントに沿った診療が実施できる
- ・EBM の重要性を説明できる

#### <略歴>

- 2013 年 北海道大学歯学部卒業  
2013 年 名古屋大学医学部附属病院 歯科口腔外科  
2015 年 医療法人田口歯科医院勤務  
2018 年 愛知学院大学歯学部冠・橋義歯学講座  
2023 年 愛知学院大学歯学部冠橋義歯・口腔インプラント学講座（名称変更）

代表的所属学会等：

- 日本顎関節学会 認定歯科顎関節症専門医/診療ガイドライン作成委員会/渉外委員会/  
保健医療推進委員会/社会連携・広報委員会  
日本補綴歯科学会 診療ガイドライン委員会  
口腔インプラント学会



## 大井 一浩

（金沢大学大学院医薬保健学総合研究科  
外科系医学領域顎顔面口腔外科学分野）

### 『顎関節症における専門的治療 —外科的療法とその適応を中心に—』

#### <要旨>

顎関節症における専門的治療は、日本顎関節学会の『顎関節症治療の指針』において、咀嚼筋痛障害、顎関節痛障害が慢性疼痛化している場合の対応、顎関節円板の整位を目的とした保存的療法、外科的療法、心身医学・精神医学的な対応が示されている。顎関節症の基本（初期）治療を一定期間行っても痛みや開口障害等の症状が一定期間続いている場合、専門医による再評価、治療、管理が望ましい。

本講演では、顎関節症における専門的治療について、外科的療法とその適応を中心に概説したいと思います。受講者の皆様の臨床に少しでもお役に立てれば幸いです。

#### <講演内容>

- I 顎関節症における専門的治療について
- II 顎関節症における外科的療法について
- III 外科的療法の介入について

#### <専門医カリキュラム>

- ・顎関節症の病態を説明できる
- ・関節鏡検査の適応を説明できる
- ・関顎関節症の診断および病態診断ができる
- ・外科的療法の適応症を判断できる

#### <略歴>

- 2000 年 3 月 北海道大学歯学部卒業
- 2000 年 4 月 北海道大学大学院歯学研究科口腔顎顔面外科学教室 研修医
- 2005 年 3 月 北海道大学大学院歯学研究科修了・博士（歯学）
- 2005 年 4 月 市立砺波総合病院歯科口腔外科 医員
- 2007 年 4 月 北海道大学病院歯科診療センター 医員
- 2012 年 4 月 市立砺波総合病院歯科口腔外科 医長
- 2014 年 10 月 金沢大学附属病院歯科口腔外科 講師
- 2023 年 4 月 金沢大学附属病院歯科口腔外科 病院臨床教授
  
- 2016年5月-2017年3月 Musculoskeletal Biology, Institute of Ageing and Chronic Disease,  
University of Liverpool, UK (Honorary Research Fellow)
- 2023年5月-2023年10月 Regional Maxillofacial Unit, Aintree University Hospital, UK  
(Honorary Visiting Professor)

代表的所属学会等：

日本顎関節学会 認定歯科顎関節症専門医・指導医、理事

日本口腔外科学会 専門医・指導医

日本顎変形症学会 認定医・指導医、評議員

American Society of TMJ Surgeons (ASTMJS) International member



## 村岡 渡

（川崎市立井田病院顎関節・口腔顔面痛外来）

### 『口腔顔面痛のより広い側面からみた顎関節症』

#### <要旨>

顎関節症は鑑別診断を含めた正しい診断と治療選択が重要であり、除外診断のために知っておくべき疾患が数多く、治療法の選択也多岐にわたる。そこで、まず顎関節症を他の疾患から除外するため本学会から発表されている「顎関節症と鑑別を要する疾患あるいは障害（2014 年）」について解説させて頂く。次に今回のキーポイントにも示されている「痛みの慢性化や複数の痛みの症状が同時に存在する場合」について、顎関節症の具体的な症例を提示し、実際にその他の痛みと重複している際の「口腔顔面痛のより広い側面からみた場合」の病態や鑑別の方法を解説する。最後に、専門医の治療と適切な専門医への紹介のタイミングやポイントについても併せてご説明し、日々の顎関節症の診療に活かして頂ければと考えている。

#### <講演内容>

- I 顎関節症の病態と診断
- II 顎関節症以外の疾患との鑑別
- III 口腔顔面領域の痛みとの鑑別とその治療

#### <専門医カリキュラム>

- ・顎関節症の診断および病態診断ができる
- ・顎関節症以外の顎関節疾患と鑑別できる
- ・顎関節症類似の臨床症状を呈する疾患と鑑別できる
- ・各病態に対し治療・管理目標を設定できる

#### <略歴>

1997 年 鶴見大学歯学部卒業、慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科研修医  
1999 年 慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科専修医、国立栃木病院歯科口腔外科医員  
2001 年 清水市立病院口腔外科医員  
2003 年 慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科助手  
2006 年 日野市立病院歯科口腔外科主任医員  
2012 年 川崎市立井田病院歯科口腔外科医長  
2017 年 川崎市立井田病院歯科口腔外科部長  
2025 年～川崎市立井田病院歯科口腔外科 顎関節・口腔顔面痛外来担当  
慶應義塾大学医学部非常勤講師（歯科・口腔外科学）

代表的所属学会等：

日本顎関節学会 認定歯科顎関節症専門医、指導医、理事  
日本口腔顔面痛学会 専門医・指導医、常務理事  
日本口腔外科学会 認定口腔外科専門医、代議員

Diplomate of American Board of Orofacial Pain（米国口腔顔面痛学会ボード認定専門医）

Asian Academy of Orofacial Pain and Temporomandibular Disorders, Councilor

医学博士（慶應義塾大学）